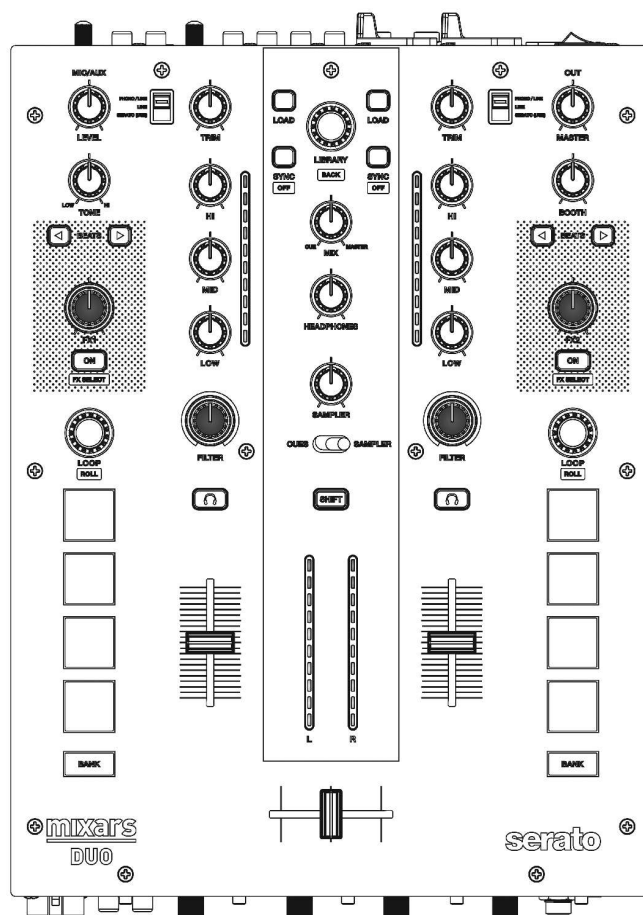


# MIXARS



**Professional 2 channel Battle mixer  
with integrated audio interface for Serato DJ**

## 安全にご使用いただくために

1. 使用前に本書を必ずお読みください。
2. 本書は必ず保管しておいてください。
3. 本書に記されている警告を順守してご使用ください。
4. 本書に従ってご使用ください。
5. 本機に水をかけたり、濡らしたりしないでください。
6. 掃除には乾いた布のみをご使用ください。
7. 設置の際は通風孔を塞がないようご注意ください。付属品等は本書の指示に従って取り付けてください。
8. ヒーター、ストーブなど熱源の近くでは使用しないでください。
9. 電源プラグは根本まで確実に差し込んでご使用ください。
10. 電源コードは加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりなど、破損するようなことはしないでください。破損した場合、火災や感電の原因になる恐れがあります。
11. 製造元が指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
12. 製造元が指定したカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルのみを使用するか、本機とセットで販売されているものをご使用ください。カートを使用するときは、転倒による怪我がないように注意してください。
13. 長期間使用しないときや雷が鳴っているときは、本機の電源コードを抜いてください。
14. 電源コードやプラグが破損したり、液体がこぼれたり、物が本機に落ちたり、本機を落としたり、本機が雨や湿気にさらされ、正常に動作しない場合は販売元にお問い合わせください。
15. 【警告】火災や感電の危険を減らすために、本機を雨や湿気にさらさないでください。
16. 電源スイッチは電源接続器として機能しているため、必ず操作できるようにしておいてください。
17. 通風孔を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆われないようにしてください。
18. ろうそくのような裸火は本機の上に置かないでください。
19. 直射日光や、異常に温度が高くなる可能性がある場所には設置しないでください。故障・火災の原因になる恐れがあります。
20. 本機に水滴が飛ばないようにご使用ください。水の入ったコップ、花瓶などは本機の上に置かないでください。

### 警告

火災や感電の危険を減らすため、本機を雨や湿気にさらさないでください。また、花瓶などの液体で満たされたものは本機の上に置かないでください。

### 注意

感電の危険を減らすため、カバーを取り外さないでください。内部にはお客様自身で修理できる部品はありません。販売元のみ修理のご依頼等をしてください。



**CAUTION**  
RISK OF ELECTRIC SHOCK  
DO NOT OPEN



こちらのマークはユーザーに警告を示すためのものです。  
操作方法とメンテナンス（保守）の解説が付属の取扱説明書に記載されています。



こちらのマークは、本機内部の絶縁されていない「危険な電圧」の存在を警告することを目的としています。

### 注意

感電防止のため、電源プラグを根本まで確実に差し込んでご使用ください。プラグの露出を防げない場合、延長コード、またはその他のコンセントを使用しないでください。

## アクセサリとドライバのインストール

本機に同梱されている以下の付属品をご確認ください。

取扱説明書（本誌） x 1	USBケーブル x 1	ACコード x 1	保証書 x 1
---------------	-------------	-----------	---------

### ドライバのインストール

Mixars DuoはMac OS X準拠のデバイスです。Windowsの場合、専用のドライバが必要です。  
serato DJで使用する前に、ドライバのインストールが完了していることを確認してください。

#### Mac

ドライバは必要ありません。

#### Windows

当社のウェブサイトからドライバをダウンロードしてください。 [www.mixars.com](http://www.mixars.com)

.exeファイルをダブルクリックしてインストールを開始し、画面の指示に従います。  
Windowsに認識されるために、インストール後にDUOを再接続する必要がある場合があります。

## コントロールと機能

### 本体背面部

#### 1. 電源オン / オフスイッチ

本機の電源をオン/オフを操作します。

#### 2. AC IN端子

付属のACアダプターを接続します。

#### 3. メイン出力：バランスXLR端子

メインバランスXLR出力端子です。《MASTER》ツマミで制御します（30を参照）。

#### 4. ブース出力：TRS端子

サブのTRS出力端子です（バランス）。《BOOTH》ツマミで制御します（31を参照）。

#### 5. セカンダリマスター出力：RCA端子

サブのRCAマスター出力端子です（アンバランス）。

《Master》ツマミで制御します（30を参照）。

#### 6. REC出力端子

録音用のRCA出力端子です（アンバランス）。

《Master》ツマミで制御します（30を参照）。

#### 7. サブのLINE入力端子

各チャンネルのサブ用のLINE入力端子です。

#### 8. メインのPHONO/LINE入力端子

各チャンネルのメインのPHONO / LINE入力端子です。

使用する機器（PHONOまたはLINE）に応じて、専用の《Phono / Line》ボタンを使用して適切な設定をしてください。

#### 9. USBハブ端子

外部機器をPCに接続するための2つのUSB入力端子です。

#### 10. メインのUSBサウンドカード出力端子

Serato DJで使用するために、付属のUSBケーブルを使用し、本機をPCに接続します。

### 本機正面部

#### 11. マイク入力端子

XLR / TRSコンボ・マイク入力端子です。

《MIC / AUX》つまみで制御します（25を参照）。

#### 12. AUX入力端子

LINE信号を接続するためのAUX入力端子です。

《MIC / AUX》つまみで制御します（25を参照）。

#### 13. マイク / AUXスイッチ

マイク入力またはAUX入力を使用する場合に選択します。左にスイッチするとマイク入力、右にスイッチするとAUX入りに切り替えができ、センター位置は、マイク・AUX共に入力をオフにします。

#### 14. チャンネルフェーダーカーブ

チャンネルフェーダーのカーブ調整およびリバーブスイッチです。対応するチャンネルのチャンネルフェーダーカーブの特性を調整し、各チャンネルのリバーブを有効または無効にします。

#### 15. クロスフェーダー調整とリバーブスイッチ

Cf Cut-In:

クロスフェーダーのカットインタイムを調整します。デッドスペースを最小にするためには左方向に（より速いカットイン）、より大きなデッドスペースをつくる場合は右方向に（ゆっくりと長いカットイン）調整します。

Cf Curve:

クロスフェーダーカーブをハード（右方向）からソフト方向（左方向）に調整します。

Reverse switch:

左右のチャンネル出力を反転します。

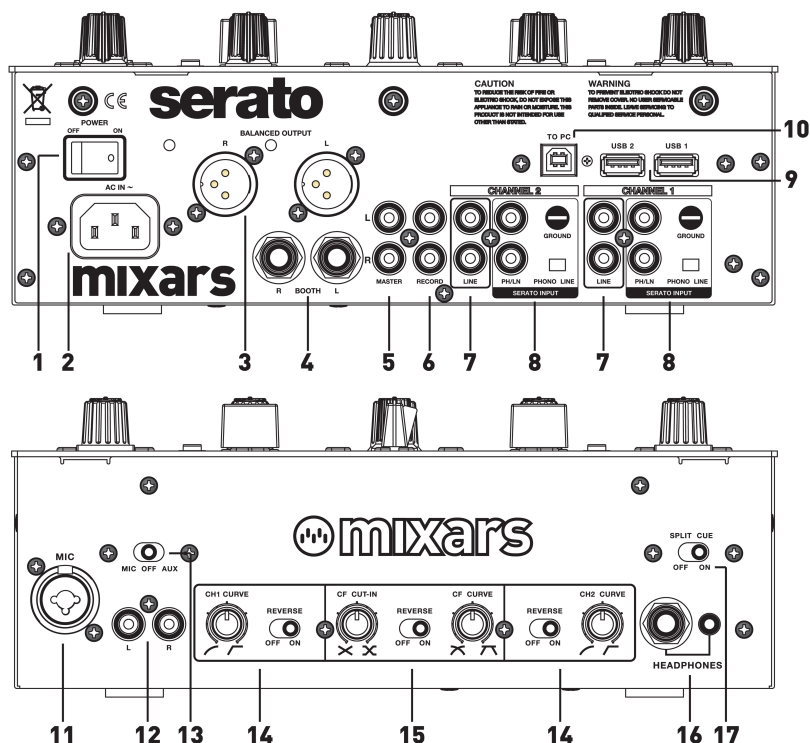
#### 16. ヘッドフォン出力

TRSおよびミニジャックヘッドフォン出力は

《Headphones》つまみ（29を参照）で制御します。

#### 17. スプリットキューオン/オフスイッチ

オンにすると、ヘッドフォン出力が分割されます。一方のチャンネルはマスター出力、他方のチャンネルは《CUE》ボタン（32を参照）で選択されたチャンネルが出力されます。



DUO - Serato DJクイックスタートガイドについては、  
<https://serato.com/hardware/mixars-duo> にアクセスしてください。

## 操作パネル

### 18. チャンネル・フェーダー

対応するチャンネルの音量を調節します。

### 19. クロスフェーダー

左、右、または両方のチャンネルの出力を切り替えます。

### 20. パッド

Serato DJでキューポイントとサンプルを再生するために使用します。

Bank:

パッドバンク1は(1~4のキュー)パッドバンク2は(5~8のキュー)を操作します。

### 21. ループ / ループロール

Serato DJでは、つまみを押ししたり回したりして、ループとループロールの機能を制御します。ループロール機能を制御するには、《SHIFT》ボタン(33を参照)を押し続けます。

### 22. FX1 および FX2の操作

つまみを回して対応するエフェクトの強さを調整し、《ON》ボタンを押してエフェクトのオン/オフを切り替えます。FX選択を有効にするには、《SHIFT》を長押しします。

### 23. ビート

FXのシンクロ具合を調整します。

### 24. マイク / AUXトーン調整

マイク入力またはAUX入力のトーンを調整します。

### 25. マイク / AUXレベル

マイク入力またはAUX入力のレベルを調整します。

### 26. ソーススイッチ

対応するチャンネルで制御する入力ソースを選択します。Phono / Line (8)、Line (7)、Serato-USB (10)を切り替えます。

### 27. トリム、EQ、フィルター、チャンネル・レベル・メーター

Trim:

対応するチャンネルの全体的な音量を調整します。

Hi, Mid, Low:

対応するチャンネルのイコライザーを調整します。

Filter:

対応するチャンネルのアナログフィルターを制御します。

(センター位置: オフ)

Level meters:

《Trim》コントロールで調整した対応するチャンネルの音量レベルを表示します。

### 28. ライブラリコントロール、ロードコントロール、同期コントロール

Load:

《Load》ボタンを押して、対応するデッキに楽曲をロードします。

Library:

《Library》つまみを回してライブラリをスクロールします。つまみを押しして次の階層を表示します。《Shift》を押しながら押すと、前の階層に戻ります。

Sync:

対応する《Sync》ボタンを押してトラックを別のトラックに同期できます。《Shift》を押しながら《Sync》を押して機能をオフにします。

### 29. ヘッドフォンとサンプラーの操作

Mix:

CueとMasterの音量バランスを調整します。

Headphones:

ヘッドフォンの音量を調整します。

Sampler:

サンプラーの音量を調整します。

Cue / Sampler switch:

「パッド」(20を参照)でキューポイントまたはサンプルプレーヤーをコントロールする場合に選択します。

### 30. マスターボリューム

《Master》出力の音量を調整します。

### 31. ブース

《Booth》出力の音量を調整します。

### 32. キューオン/オフ

対応するチャンネルをキュー信号に割り当てます。

### 33. シフトボタン

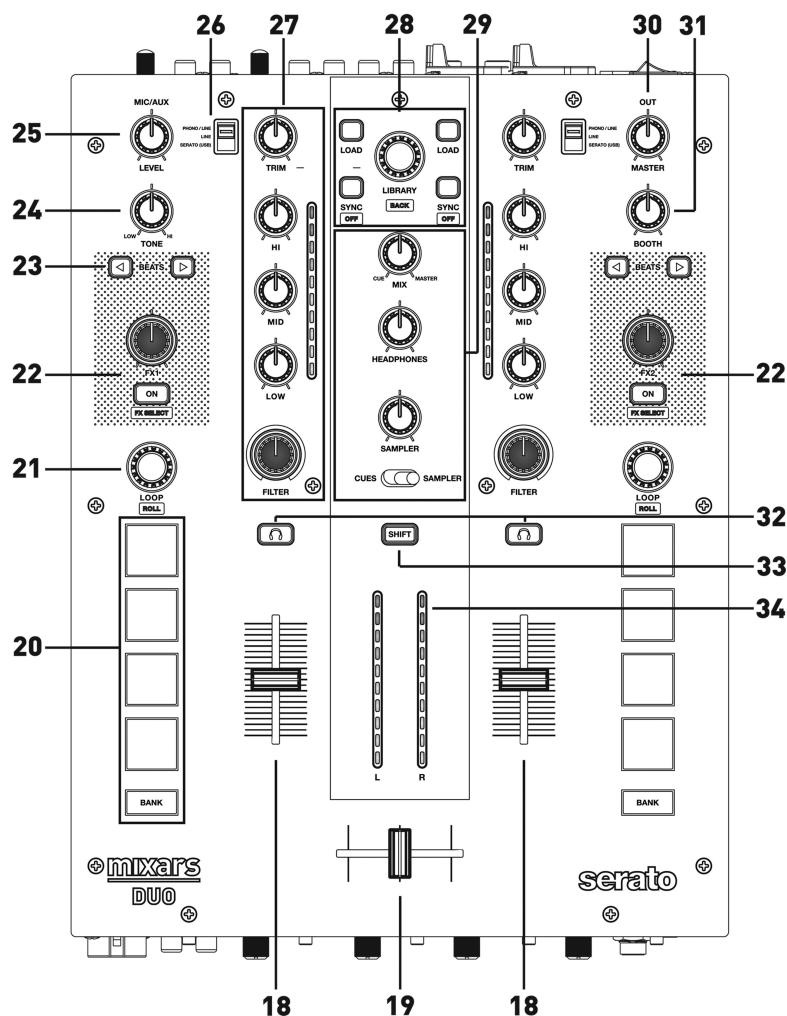
21, 22, 28を参照してください。

押しながら操作することでループ・ロール、FXセレクト、シンク・オフ、ライブラリー・バックなどの調整ができます。

### 34. マスターレベルメーター

《Master》出力の音量レベルを表示します。

すべてのフェーダーとスイッチ等はMIDIに対応しています。



## 仕様

### 1. 主要部分

電源AC	100~240V 50/60Hz
消費電力	13W
寸法	265mm (W) X 369mm (D) X 104.1mm (H)
重量	4.15kg

### 2. 入力/出カインピーダンスと感度 (1kHzの入力で、MIC / AUX、TRIM、MASTERが最大の場合)

#### 2-1.

入力インピーダンスと基準入力レベル:

LINE :	10K OHM /-14dBV (200mV)
PHONO :	47K OHM /-50dBV (3.16mV)
AUX :	10K OHM /-14dBV (200mV)
MIC :	5K OHM /-54dBV (1.99mV) (Unbalance)
USB :	(N/A)/-3.4dBV (96K-782 TK. 16/1kHz -20dB)

#### 2-2. アウトプット・インピーダンスと基準出力レベル:

		Nominal	Limited
MASTER :	1K OHM /0dBV (1V)	± 1dB	± 2dB
BALANCED :	600 OHM /0dBV (1V)	± 1dB	± 2dB
BOOTH :	600 OHM /0dBV (1V)	± 1dB	± 2dB
PHONES :	33 OHM /-3dBV (708mV)	± 1dB	± 2dB
RECORD :	1K OHM /-9dBV (400mV)	± 1dB	± 2dB

### 3. 周波数レスポンス: (基準入力レベルで、MIC / AUX、TRIM、MASTERが最大の場合)

		Nominal	Limited
LINE :	20 - 20K Hz	+1/-1.5dB	+2/-3dB
AUX :	20 - 20K Hz	+1/-1.5dB	+2/-3dB
PHONO :	20 - 20K Hz	+1/-2dB	+2/-3dB (RIAA)
MIC :	20 - 20K Hz	+1/-2dB	+2/-3dB

#### 4. 最大入力:

(MIC / AUX、TRIM、MASTERを9時の位置に設定した場合)

	Nominal	Limited
LINE :	+15dBV	+14dBV
AUX :	+15dBV	+14dBV
PHONO :	-21dBV	-22dBV
MIC :	-25dBV	-26dBV

#### 5. 最大出力: (MIC / AUX、TRIM、MASTERを最大値に設定した場合)

	Nominal	Limited
MASTER UNBALANCED :	+17 dBV	+16dBV
MASTER BALANCED :	+17 dBV	+16dBV
BOOTH BALANCED :	+17 dBV	+16dBV
PHONES :	+5dBV	+4dBV

#### 6. S/N比: (1KHzの入力で、MIC / AUX、TRIM、MASTERのを12時の位置に設定した場合)

	Nominal	Limited	
LINE :	86dB	83dB	AT 0dB INPUT
PHONO :	86dB	83dB	AT -36dB INPUT
AUX :	86dB	83dB	AT 0dB INPUT
MIC :	79dB	75dB	AT -40dB INPUT

#### 7. THD + N: (1KHz入力、MIC / AUX、TRIM、MASTERを12時の位置に設定した場合)

	Nominal	Limited	
LINE :	0.01 % 0.02%		AT 0dB INPUT
AUX :	0.01 % 0.02%		AT 0dB INPUT
PHONO :	0.02 % 0.05%		AT -36dB INPUT
MIC :	0.03%		0.06 % AT -40dB INPUT

#### 8. CROSSTALK: (1KHz入力、MIC / AUX、TRIM、MASTERを12時の位置に設定した場合)

	Nominal	Limited	
LINE :	85dB	82dB @EACH CHANNEL INPUT	AT 0dB INPUT
PHONO :	85dB	82dB @EACH CHANNEL INPUT	AT -36dB INPUT

#### 9. LRチャンネルセパレーション: (1KHz入力、MIC / AUX、TRIM、MASTERを12時の位置に設定した場合)

	Nominal	Limited	
LINE :	85dB	82dB @BETWEEN L AND R CHANNEL	AT 0dB INPUT
PHONO :	85dB	82dB @BETWEEN L AND R CHANNEL	AT -36dB INPUT

#### 10. イコライザレスポンス: (基準入力レベルで、MIC / AUX、MASTERを20KHz LPFで最大に設定した場合)

LINE :	Nominal	Limited
(1) Low Band :	<i>(Low Bandの基準周波数は70Hzです)</i>	
Maximum level :	+12 ± 1dB	± 1.5dB
Minimum level :	-25 ± 1dB	± 1.5dB
(2) Middle Band :	<i>(Middle Bandの基準周波数は1KHzです)</i>	
Maximum level :	+12 ± 1dB	± 1.5dB
Minimum level :	-25 ± 1dB	± 1.5dB
(3) High Band :	<i>(Hi Bandの基準周波数は13KHzです)</i>	
Maximum level :	+12 ± 1dB	± 1.5dB
Minimum level :	-25 ± 1dB	± 1.5dB

#### 11. AUDIO CARD

USB

24bit / 48kHz